只見小学校　高学年　只見学（ESD・海洋教育）ストーリーマップ
「ふるさと只見の産業を考える～地域産業発展のために～」

各教科との関連の4つの視点（枠の色分けで表記）

学習内容・認知面での関連	知識の深化
技能・リテラシー面での関連	技能の活用
情緒・価値観での関連	価値の醸成
態度・行動面での関連	行動の変容

4月　5月　6月　7月　8月　9月　10月　11月　12月　1月　2月　3月

目指す子ども像
只見の将来の担い手として、只見町について高い関心を持ち、海とのつながりを意識し、進んで調べたり体験したりして考えたことを、自分の言葉で表現し、提案し、行動できる子ども

只見町の農業を知ろうⅠ
○　只見町で盛んに行われている産業を話し合い、農業が盛んな理由を考える。

国語科「聞いて考えを深めよう」（6年）

社会科「震災復興の願いを実現する政治」6年

社会科「米作りのさかんな地域」5年

只見の主な産業を調べようⅠ
○　取材を通して友達や地域の方と思いや考えを交流して，努力に気付き，応援したいという気持ちをもつことができる。

社会科「米作りのさかんな地域」5年

只見町の主な産業を知ろうⅠ
○　只見町には農業や工業、商業などがあることを知り、只見町の産業についてまとめることができる。

道徳「チョモランマ清掃登山隊」（6年）

理科「かわり続ける大地」5年

社会科「くらしを支える工業生産」「水産業のさかんな地域」　5年

只見町の農業を知ろうⅡ
○　稲刈り体験を通して感想を交流し合い、農家の人に気づいたり、収穫の喜びを味わったりする。

道徳「大みそかの朝に」（6年）

図画工作科「水の流れのように」（6年）

只見町の産業を調べようⅡ
○　グループに分かれて取材活動を行い、調べたことをプレゼンテーションソフトを用いてまとめる。

国語科「グラフや表を用いて書こう」（5年）

音楽科「われは海の子」

特別活動「只見の水害」（防災教育）

5月　ボートに乗って田子倉湖自然散策
田子倉湖を小型ボートに乗って観察し、ブナ林や浅草岳などの景観を楽しむことで、只見の自然の美しさに気付く。

6月　八十里峠を越えて只見から海へ
八十里越を（国道289号）の工事の様子を見学するとともに、寺泊水族館へ行き、海の生物を観察し、理解を深める。また、水族館周辺で磯遊びを行い、海の生物への関心を高める。

国語科「海のいのち」（6年）

道徳「フジの新しいおひれ」（5年）

9月　ふるさと登山で只見を見てみよう
「恵みの森」へ行き、自分たちのふるさと只見町の自然のすばらしさを感じることによって、ふるさとのよさに気付く。また、植物や水生生物に関心を持つ。

道徳「熊野の森を守る」（6年）

10月　学んだことを発信しよう
・これまで学んだことを学習発表会で発信しよう

国語科「デジタル機器を使って、プレゼンテーションしよう」（6年）

理科「地球に生きる」（6年）

只見町の産業を応援しよう
○　地域の一員として、只見町の産業のために自分たちができることが何かを具体的に考え、地域に働きかけることができる。

図画工作科「雪像づくり」

つかむ　**さぐる**　**広げる**　**深める**

防災教育

5月　火災を想定した避難訓練
非常災害による被害から生命を守るために必要な知識・理解を深め、場面に応じた避難の仕方、安全な態度を育てる。

7月　水災害出前講座
南会津建設事務所の方々を招き、大雨が続いたときにどのようなことが想定されるか、土砂崩れの恐ろしさ、また、大水から自分の身を守るためにはどのような行動をするべきかについて学ぶ。

7月　防災教育授業
「災害から身を守る」
町に起きた水害の様子を知り、安全な行動の仕方を考えることができる。

10月　引き渡し訓練
緊急時、学校安全管理下から、児童を安全確実に保護者へ引き渡す場面を想定し、児童・保護者・教職員が参加した共同訓練を通して、引き渡しの手順について理解する。